

自立活動	自立活動
実態 <ul style="list-style-type: none"> ・勝ち負けにこだわり、負けたときは泣いて友達とトラブルになる ・視覚的な支援があるとルールを理解できる ・黒板を写すとき、どこを見ていいか混乱する 	目標 <ul style="list-style-type: none"> ・勝っても負けても最後までゲームができる ・友達と交代してゲームを楽しむことができる ・ルールを意識して身体を動かす ・見る力を高める
実践 <ul style="list-style-type: none"> ・サーキットゲーム 手型や足型の指示を合わせて一周する 友達の活動を応援し、良いところを伝える ペアで協力してサーキットを回る 	<p>視覚的に分かりやすい教材を使ってコースを設定する</p>  <p>はみ出さない、設定時間に合わせてゴールする等、ルールを変更する ペアのときにバランスボールを体ではさんだり、手をつないだりしてお互いの動きを感じながら活動する 「どんまい!」「次があるよ!」とお互いに声かけをし合うことができるようにする</p> <p>目と手の協応の力を付ける取組をする</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ころころキャッチ（机の端から転がしたボールを受ける） ボールの大きさや個数を変える 片手・両手・道具を変えて難易度を変化させながら取り組む
担任の願い <ul style="list-style-type: none"> ・コースやルールを児童自身が決めることで、モチベーションの向上とチャレンジしたい気持ちを育む ・興味のある題材やストーリー性をもたせて、児童自ら注目する力を付けられるようにする 	

自立活動	自立活動
実態 <ul style="list-style-type: none"> ・失敗経験が多く自己肯定感が低い ・自分の状態や気持ちに気づきにくく、表現が苦手 	目標 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の得意・不得意を知る ・適切な方法を見つけて成功する経験を積み重ねる
実践 <ul style="list-style-type: none"> ・自分が「できる」「分かる」方法を知る 伝言の場面・テスト勉強の仕方や予定の立て方 読みやすいフォントやポイント数 ・自分の不得意を知り、必要な事柄は他者に依頼する 見通しが必要…「次の予定を教えてください」 その場で質問するのは難しい…事前に質問事項を書いて「教えてください」 聴覚的な苦手さがある…「ゆっくり話してほしいです」、「紙に書いてください」 ・自分の状態を分かり、担任との約束のもとリラックスルームへ行く ・自分の気持ちを教員に伝えることができる 	<p>メモをとりやすいのはどのタイミング?</p> <p>僕は話を聞き終わってからメモをとる方がいい</p>   <p>どこに行くのか、どうなれば戻ってくるのか、何を教員に知ってもらいたいのかなど、自分の思いを表現できる方法を準備しておく</p>
担任の願い <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身ができないと思わず、自分に合った方法を見付ければ「できる」という自己理解や自己決定ができるようにする ・生徒が自分の状態や気持ちについて理解することができるとともに、人に伝えることができ、分かってもらえたという経験が積めるようにする 	

引用・参考文献

- (1) 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所（平成 21 年 9 月）『特別支援教育の基礎・基本』
- (2) 心のバリアフリー学習推進会議（平成 30 年）『学校における交流及び共同学習の推進について～「心のバリアフリー」の実現に向けて～』
- (3) 文部科学省（平成 19 年 4 月）『特別支援教育の推進について（通知）』
- (4) 文部科学省（平成 19 年 4 月）『共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）』
- (5) 文部科学省（平成 24 年 7 月）『通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について』
- (6) 文部科学省初等中等教育局長（平成 25 年 10 月 4 日）『障害のある児童生徒等に対する早期からの一貫した支援について（通知）』
- (7) 文部科学省（平成 25 年 10 月）『教育支援資料～障害のある子供の就学手続と早期からの一貫した支援の充実～』
- (8) 文部科学省（平成 28 年 1 月）『発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する教育支援体制整備ガイドライン～発達障害等の可能性の段階から、教育的ニーズに気づき、支え、つなぐために～』
- (9) 文部科学省『平成 29 年度小・中学校新教育課程説明会（中央説明会）における文部科学省説明資料』
- (10) 文部科学省『幼稚園教育要領、小・中学校学習指導要領の改定のポイント』
- (11) 文部科学省（平成 31 年 3 月）『交流及び共同学習ガイド』
- (12) 文部科学省（令和元年 6 月）『教科書制度の概要』
- (13) 文部科学省（平成 30 年）『特別支援教育 夏』
- (14) 文部科学省（平成 29 年 4 月）『小学校学習指導要領』
- (15) 文部科学省（平成 29 年 3 月）『小学校学習指導要領解説 総則編』
- (16) 文部科学省（平成 29 年 7 月）『小学校学習指導要領解説 国語編』
- (17) 文部科学省（平成 29 年 6 月）『中学校学習指導要領』
- (18) 文部科学省（平成 29 年 3 月）『中学校学習指導要領解説 総則編』
- (19) 文部科学省（平成 29 年 7 月）『中学校学習指導要領解説 保健体育編』
- (20) 文部科学省（平成 29 年 3 月）『特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領』
- (21) 文部科学省（平成 30 年 3 月）『特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）』
- (22) 文部科学省（平成 30 年 3 月）『特別支援学校教育要領、学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）』
- (23) 奈良県教育委員会事務局学校教育課長（令和 2 年 1 月 31 日）『令和 2 年度奈良県公立高等学校及び県立高等養護学校の入学者に関する生徒指導要録の抄本又は写し及び健康診断票等の提出について（通知）』

特別支援学級の実践をお話いただいた先生方（敬称略、五十音順、令和 2 年 3 月現在）

岡田 恵未	（奈良市立鳥見小学校）	岡本 恵子	（曾爾村立曾爾中学校）
岡本 卓也	（奈良市立都南中学校）	岡本真由美	（吉野町立吉野小学校）
小川 奈美	（大淀町立大淀希望ヶ丘小学校）	金井 京子	（高田市立片塩中学校）
杉本 晴美	（桜井市立桜井小学校）	中西 通剛	（奈良市立鳥見小学校）
中山 永章	（高田市立片塩中学校）	前尾 博美	（奈良市立都南中学校）
松田 祐子	（橿原市立真菅小学校）	松村 静雄	（生駒市立生駒小学校）
山本 光代	（大淀町立大淀希望ヶ丘小学校）	吉田 貴宏	（曾爾村立曾爾中学校）
脇本 卓美	（特別支援教育巡回アドバイザー）	大塚いずみ	（特別支援教育巡回アドバイザー）

特別支援学級教育課程ハンドブック

令和2年3月 発行

編集・発行 奈良県立教育研究所
特別支援教育部

〒636-0393 奈良県磯城郡田原本町多722
奈良県総合リハビリテーションセンター2階
TEL：0744-32-8201



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルフォントを採用しています